

本邦で HLA 適合血縁者間同種移植または非血縁者間臍帯血移植の治療を受けた寛解期急性骨髄性白血病の患者様へのお知らせ

研究責任者： 東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野
准教授・小沼貴晶

東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野では、患者様の情報を使わせていただき、以下の研究を行います。下記2. に該当する患者様で、情報が本研究に用いられることを希望されない方は、下記7. の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありませんのでご安心ください。なお、お申し出の時点において、すでに情報を用いた研究結果が論文等で公表されていた場合には、その研究結果については破棄できないことをご了承ください。

1. 研究課題名： 寛解期急性骨髄性白血病に対する非血縁者間臍帯血移植と HLA 適合血縁者間同種移植の比較に関する研究

2. 研究の対象となる方と用いる情報：

日本造血細胞移植学会一元化登録事業データから、2015 年 1 月～2024 年 12 月に日本で HLA 適合血縁者間同種移植または非血縁者間臍帯血移植の治療を受けた寛解期急性骨髄性白血病の方の以下の情報を利用させていただきます。

情報：診断名、年齢、性別、疾患や移植の情報、移植合併症や移植転機 等

3. 研究の目的と方法：

急性骨髄性白血病は、同種造血細胞移植の代表的適応疾患です。従来、ドナー選択においては、HLA 適合血縁ドナーが第一選択とされてきました。移植治療の進歩により非血縁者間臍帯血移植の成績は著しく向上しています。本研究は、近年の全国移植登録データの情報を利用させていただき、寛解期急性骨髄性白血病に対する非血縁者間臍帯血移植と HLA 適合血縁ドナー移植の治療成績を比較検証することで、最適なドナー選択アルゴリズムの確立と治療戦略の最適化をもたらし、本邦における移植医療全体の成績向上に大きく寄与することが期待できます。

4. 個人情報の取扱い：

各医療機関での日本造血細胞移植学会/日本造血細胞移植データセンターの一元管理データベースの登録において、情報には患者様を直ちに特定できる情報はつけずに登録されています。当機関では、研究用 ID と患者様を特定できる情報を記載した対応表は受領していません。参加拒否のお申し出があった場合、日本造血細胞移植学会/日本造血細胞移植データセンターにおいてオプトアウト対応を行います。

5. 研究期間等：

研究期間：2026 年7月24 日（所長許可日）～ 2028年3月31 日

6. 研究実施体制:

研究責任者 東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野 准教授 小沼貴晶

7. ご質問・ご相談、ご辞退のお申し出に関する連絡先

本研究に関するご質問・ご相談、または、情報が本研究に用いられることを希望されない場合には下記までご連絡下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧出来ますのでお申し出下さい。

<連絡先>

担当者:小沼貴晶 東京大学以下が研究所 造血病態制御学分野

電話番号:03-5449-5429

メールアドレス:tkonuma@ims.u-tokyo.ac.jp

【東京大学医科学研究所】

研究所長名:岩間厚志

住所:東京都港区白金台 4-6-1

ホームページ: <https://www.ims.u-tokyo.ac.jp/>

研究倫理支援室: <https://ore-imsut.jp/>